



賃金引き上げ！

2023

物価上昇で
苦しい！



春闘スタート！！

LET'GO！



JR東日本の経営状況

2022年4月～12月期連結決算は、純利益が**725億円の3年ぶりの黒字**になったことに加え、鉄道営業収入は2018年度比で約80%と順調な回復を見せています。また、内部留保が含まれる「**所有する賃貸等不動産の時価**」も**2.4兆円**あり、支払い能力は十分です。

物価上昇

赤字・コロナ禍による年収減少に加え、物価や光熱費の上昇によって生活の苦しさが増えています。食品では2022年2万822品目が平均14%値上、2023年も4425品目の値上げが予定されており、**物価上昇も加味した賃上げが必要です。**

JR東日本の経営姿勢

1月5日の経済三団体の新年祝賀会で、**マスコミが11社の企業に賃上げの考えを聞いたところ、各企業が賃上げを「します」「前向き」と回答している中、JR東日本だけが「慎重」と答えました。低賃金で働く労働者をつくり上げようとしています。**これこそが経営の本音であり、低賃金で思い通りに働く労働者をつくるために、いつの時代も労働組合の力を弱めようとしていることを踏まえる必要があります。

**物価上昇・エネルギー代は青天井…もう限界！
このままで良いのですか？本音を訴えることが出来る
JR東労組に結集し、23春闘で賃上げを実現しよう！**